



みんな一緒に安全登校(前田、府道福知山綾部線)

3月定例市議会の概要

平成13年第1回定例会は3月5日から28日までの24日間にわたって開かれた。この議会では平成13年度一般会計予算など45議案が上程され、延べ15人の議員による質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決した。また、選挙管理委員及び補充員の選挙を行ったほか、「新たな農業所得補償政策の早期構築を求める意見書」を可決、関係機関に送付した。

◆平成13年度予算

一般会計で278億3,000万円、特別会計(15会計)274億3,390万円、企業会計(3会計)98億9,602万7千円。全会計の総額は651億5,992万7千円で、平成12年度当初予算と比べて35億3,240万4千円の増で、5.7%の伸びであった。

◆条例関係

「福知山市議会議政務調査費の交付に関する条例」「国民健康保険出産費貸付基金条例」「特定環境保全公共下水道事業分担金徴収条例」の新設ほか、12条例の一部改正を行った。

◆その他

- 辺地総合整備計画の変更について

◆平成12年度補正予算

一般会計7億3,243万7千円、特別会計2億9,024万9千円、病院事業会計は減額2,805万6千円の計9億9,463万円を補正し、補正後の全会計の総額を635億2,280万3千円とした。

◆選挙管理委員・補充員

次の方が当選された。

●委員

加藤善一郎氏(大呂, 73歳)

塩見 勇氏(東小谷ヶ丘, 73歳)

足立 昭彦氏(東中ノ町, 69歳)

足立 圭子氏(厚, 66歳)

●補充員

谷垣 義和氏(下篠尾, 73歳)

四方 均氏(報恩寺, 64歳)

浅田 勉氏(笹場, 63歳)

原 文子氏(北本町二区, 59歳)

一般質問

(3月定例会)

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久

中心市街地活性化計画に 市民のアイデアを

問 厚生会館の改修や広小路のカラー舗装が進められるが市民のアイデアを募集しては。

答 商工会議所を中心とした委員会だけでなく商店街など、調査をして意見を聞かせてもらう機会を設けることが大切。よいアイデアは14年度に実現できればと思う。

中山間地等直接支払制度 について

問 制度が実施されたが、農家の中で制度を理解していない方もいるが指導・説明などは。

答 12年度で集落協定が策定できなかったのは6集落、十分に話し合いをして新年度には交付対象になるよう、農業委員とも協力して努力したい。

自主防災組織制度について

問 万一の時に素早く行動できる自主防災組織への補助制度が実施されているが、呼びかけの方法は。

答 現在、自治会からの申し出が2件あり、うち1自治会から申請を受け取った。今後は広報等で機会あるごとに呼びかけていく。

公共料金値上げについて

問 農集排、上下水道、簡水、国保の料金改定の決め方は。

答 農業集落排水は前の改定率を上回らないように、上下水道は原価を割らないように、簡水は上下水道に準じ、国保は老人保健該当者増を見込んでの改定である。

21世紀に対応できる職員教育を

問 あいさつをはじめ、社会人として常識的な行動と対応ができて

ない職員が多いし、改められていない。市民の評価制度を導入しては。

答 評価制度をつくるよりも各部署で対応しながら改めたい。

長田野工業団地周辺整備について

問 旧長田野会館は、本市の管理となり改修された。ここ数年、10回以下の利用で、今後、企業交流が増えるようにも思えない。本市の玄関口で、広大な土地、建物を有効利用しなければ意味がない。例えば、市民会館の東分館として一般市民にも気軽に借りられ

日本共産党市議員団

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

上下水道・国保料等の引き上げ 国保資格証明書の問題について

問 政治の責任で、景気回復を遅らせ、消費意欲を奪っている。その上、上下水道や国民健康保険料等の引き上げによる新たな負担増は、市民には冷たい仕打ちとなる。今回の引き上げの根拠は何か。

答 それぞれの会計で赤字になっている。上水の安定した供給をはかるためには引き上げる必要

るようにできないか。

答 長田野企業が企業交流活性化のために利用する施設で、今後、市民が有効利用できるような柔軟に検討していきたい。

問 下六人部学区は、急激な人口増のため、道路整備、排水対策等が遅れている。近くの砂子池周辺の公園整備や抜本的な住環境の整備などの早期実現を。

答 市の谷区、段区では小規模開発のため、道路は狭く舗装されていない箇所もあり、多くの問題点もあるが、今後検討していく。

がある。国保料は、老人保健が大幅に増加し、基金から1億円を繰り入れているが引き上げになる。

問 国民健康保険は、1年を超えらる滞納者には、医療機関の窓口で、10割全額支払いを要する資格証明書の発行が義務づけになる。払いたくても払えない人への対応や滞納理由の内容は。

答 資格証明書の発行は、悪質な滞納についてはやむを得ない。経済状況、健康や家庭の状況、納

付意識などをみて検討し、十分相談したい。滞納世帯1、200世帯のうち、1、080世帯が生活困窮で滞納になっている。

国政の見解、予算要求への対応

問 KSDや機密費問題など、今の政治は国民の暮らしの実態とかけ離れている。国政をどうみているのか。また予算要求への対応は。

答 KSDや機密費の問題は、個人の問題。与野党がもめていることが経済不況や株価にも影響を与えている。議員団の要求は、要望に添いがたいものもあるが、できるものは積極的に予算化した。

1年が経過した介護保険の評価

問 介護保険制度がスタートして1年が経過した。現時点での評価は。また、限度額に対しての利用の割合は平均で37・5%となっている。特に、低所得者の実態を調査し、保険料や利用料の減免を講じるべきだが。

答 おおむねスムーズに運営できている。実態調査をする考えはない。減免は国の制度の中で考

えるべきだ。

問 原爆被爆者の利用料免除の動きがあるが本市ではどのように対応するのか。また、介護激励金は拡充すべきだが新年度対象者はどうなるのか。

答 被爆者の利用料は国や府の動きを注目したい。介護激励金は今年度154人、新年度、市単独分で100人程度になる見込み。

下篠尾横笹川の浚渫を

問 下篠尾横笹川はごみがたまっており何らかの対応を。

答 状況をみて浚渫を検討したい。



浚渫の要望がでている横笹川

同和行政の終結を

問 同和行政終結の考え、人権教育のための国連10年市行動計画を同和对策協議会にだけ諮問するのは、人権問題の中で同和問題を突出させることにならないか。

答 経過措置について13年度で終了する。同対協を今後どうするかは検討していく。

豊かな教育条件 子育て支援を

問 少子化対策でエンゼルプランを策定すべきだが。また、全国的に問題になっている学校施設

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

商店街のアーケードの景観と機能

問 商店街のアーケードは昔は華やかに見えたが、今では重く暗く感じる。撤去する事により活気や明るさを取り戻すのでは。

答 年数も経っているが問題が多い。地元の判断によるが、TMOの中で考える問題である。

セーフガード発動農家の支援を

でのPCB蛍光灯の調査は。エンゼルプランは今後の研究課題。PCB蛍光灯は12の該当校舎のうち8箇所を調査したが問題もなく、残りも調査する。

問 セーフガード発動を国に求める考えは。また、担い手農家への機械購入補助や中山間地対策の中の補助を講じるべきだが。

答 セーフガードは国の調査を待ちたい。担い手の機械購入への補助は実施していない。中山間地での市独自の補てんは考えていない。

オープンミュージアム構想の進捗は

問 市街地の古い歴史のある町並にスポットをあて、地域商業の活性化をはかる事業だが、民間が協力するためにも調査内容を公表できないものか。

答 27自治会、2、511戸を調査した。自治会を対象に渡しであり企画部でも閲覧できるので

参考にしてほしい。

庵我城城山の観光案内標識の整備

問 城山からみる眺望は素晴らしく、一人でも多くの観光客に見てもらうために、案内標識の整備を充実してほしい。

答 今後計画的に判断していく。

交通事故対策について

問 福知山信用金庫本店前、南栄町西交差点は、東側から右折するとき、対向車が途切れることがなく、事故の原因になるので、右折指示の信号増設を検討してほしい。

答 右折レーンを設けているが、スムーズな交通の流れが必要なので、交通安全対策協議会で検討をする。

イエロー・ザ・ストップの提唱

問 交差点で信号が黄色になったら道路交通法のルールにより行動して、市民一人ひとりが安全に対する意識とゆとりを持つことが必要である。啓発運動として本市住民所有の全車に「イエロー・ザ・ストップ」のステッカーを貼る運動をしてはどうか。

答 前向きに警察とも相談をしていく。

障害者対策について

問 視覚障害者が本を音声で読める、音声読み取り機の導入は、残念だが、新たに購入することとは困難である。

答 視覚・聴覚障害者用パソコンを取り入れる考えは。

問 IT時代に即応して、在宅障害者が利用できるパソコンを総合福祉会館に設置予定である。

答 北近畿の中核都市にふさわしい図書館の建設の考えは。

教育問題について

問 市立図書館は、現在では手狭になってきている。将来的には他の施設との複合建設を検討していく必要がある。毎年予算を組んで資料を増やしている。新年度からは府立図書館のネットワークにも加入。府内の図書館と図書で貸し借りができるようにする。

答 市と地域とが一体となつての監視体制づくりが必要である。

問 ごみ有料化に伴い不法投棄が懸念されるが、監視体制は。

答 市と地域とが一体となつての監視体制づくりが必要である。

問 収集有料化に伴い、不法投棄が増えているか。また、分別の現地指導の必要性はないか。

答 現在では不法投棄が増加したとは聞いていない。分別のマナーは向上しているが不十分なので、ごみの出し方について、さらに理解と協力をお願いしていく。

問 遠隔地の高齢者のごみ袋調達方法は。

答 農協の移動購買車などを利用するか、地区の自治会長に聞いていただきたい。

福政会

片山	照雄	和泉すゑ子
荒木	治清	芦田 弘夫
武田	光正	野田 勝康
大西	肇	

ごみ収集の有料化と旧焼却炉

問 収集有料化に伴い、不法投棄が増えているか。また、分別の現地指導の必要性はないか。

答 現在では不法投棄が増加したとは聞いていない。分別のマナーは向上しているが不十分なので、ごみの出し方について、さらに理解と協力をお願いしていく。

問 遠隔地の高齢者のごみ袋調達方法は。

答 農協の移動購買車などを利用するか、地区の自治会長に聞いていただきたい。

問 旧焼却炉解体により発生する建設廃材、焼却灰などの処分方法は。

答 旧炉のダイオキシンは、国の基準より低いのではないかと考えている。厚生労働省の解体マニュアルができるまで現状で置くことになる。

市街地の浸水対策について

問 西川改修と雨水専用バイパスの建設と市街地の浸水対策は。

答 西川改修は12～13年度の2カ年継続で、延長160mにわたって河床の切り下げ工事を行っている。バイパスは平成16年度から着工の予定。浸水対策では、西本町、駅前、内記の3カ所に総計7,000トンの雨水専用の一時的貯水槽を設置する。

下川口下水道事業計画について

問 今後の下川口地域の下水道事業実施計画は。

答 下天津を含む3集落は、公共下水道事業で実施する予定で、平成15年以降の事業認可申請を考えている。

ヘリポート基地設置の考えは

問 将来の大規模災害を想定し、市街地周辺にヘリポート基地を設ける考えは。

答 市街地周辺で、昭和小学校運動場、市宮球場、伯耆丸公園などを基地として考えている。

成人式のあり方について

問 今年の成人式は、各地で荒れた成人式となった。来年から

は青年会議所と連携をとり、新成人の自主性にまかせた式にしてはどうか。また、市の財政が大変厳しい中、来賓には記念品を配付せず、新成人のみに考えてはどうか。

答 今年度の成人式は良かったという人が多い。式は市が責任を持つのが適切である。記念品の配付は、差し支えないと考える。

森林組合育成について

問 赤字決算の生産森林組合に、法人市民税に見合う金額の助成をしてはどうか。また、法人を解散すればどうなるのか。

答 財政的に、地域の各組合に助成をする余裕はない。また、法人市民税は均等割程度である。法人格を持つことは財産管理にメリットがあるが、補助事業の活用もはかってもらい経費の節減に努めていただきたい。

法人の解散については、府に相談していただきたい。

市民負担の軽減と経費の縮減について

問 先行きが見えない経済の低迷が続く中で上下水道料金の値上げ案が上程されたが、これらの施設の維持管理費の縮減策は。

答 上水道は、集中管理システムの導入・薬品注入の無人化をはかり人員の削減を行う。下水道は、機器の更新時に維持管理費が軽減できる機器の導入を計画している。

農業集落排水では、指定された以外の物が流されることが多いので、正しい使い方を啓発することにより経費の削減をはかる。

下六地区の整備計画について

問 「大ぼところ上池」の堤防が老朽化し危険な状態であるが、今後の対策は。

答 改修には堤防や取水施設の全面改修が必要で、平成14年度に調査設計、平成15年度に工事着工の予定で、受益者や地元役員との協議を進める予定である。

新政会

新年度予算編成について

問 新年度予算では、法人市民税を対前年度比21・8%増と見込んでいるが、その根拠は。

答 法人市民税は確定申告によりかなり上向いている。12年度11月現在、前年度に比べると金融・保険業は34・9%増、製造業が9・6%増、小売・卸売業が7・7%増となっており、法人市民税の伸びが見込める状況から大きな数値の根拠となっている。

問 第3次行政改革基本方針の推進に向けて予算への反映は。

答 予算編成にあたっては、健全財政を基本にふまえ経費の節減、合理化、事務事業の見直しと財源の確保に努め、21世紀を展望する予算編成とした。今年の特徴として若手職員のアイデア事業をとり入れ、住民参加のまちづくりにつながるもので、みなさんが市政に関与して関心を寄せていただけたらと思う。

介護家族支援事業について

問 家族介護用品の支給条件は。寝たきり、痴ほう性老人でおむつの必要な65歳以上の方で、購入にあてる5,000円のクーポン券を交付している。

国際化時代の対応について

問 国際理解の推進と国際感覚の向上をはかる施策は。

答 国際交流団体の活動が、府国際センターを通じて市民に広く広報できるようにする。国際交流ネットワーク会議との連携を密にして民間レベルでの交流活動を促進したい。

佐藤太清賞公募美術展について

問 佐藤太清賞公募美術展の内容と公募時期は。

答 高校、大学等に分けて入選、特選、太清賞を設け40点程度入賞を考えている。募集告知は5月中旬からはじめ、入賞作品は福知山、京都、東京で巡回展を考慮しており、福知山の宣伝にもなる。

- | | |
|-------|-------|
| 稲田 司正 | 井上 重典 |
| 森田 泰英 | 松本 良彦 |
| 田中 泰治 | 加藤 弘道 |
| 塩見 仁 | 田淵 弘 |

「仮称」芦田均記念館について

問 芦田均記念館への進入路は、大型バスが曲がりきれないと心配するが。

答 大型バスだと一度に曲がりきれないようだ。1年様子を見て14年度で検討したい。

学校教育について

問 小・中学校では教育内容が3割削減されるが、その結果子どもたちの学力が低下する心配は。

答 教科の内容を基礎・基本に厳選し、子どもたちがゆとりをもって学習し、その内容を確実に身につけられるようにする。学力は低下せず充実していくと考える。

農業・農村の新たな振興をめざして

問 農地を守り特産作物の振興をはかる更なる推進策は。

答 13年度も引き続き、水田農業経営確立対策推進事業により支援を行なって確実な生産調整を進める。また、特産8品目に新たに、やまぶきと酒米である「新祝」を加え10品目を特産物の推進事業にしたい。

問 地域の営農組織作りと支援策は。

答 農村で女性、定年退職者、高齢者が一体となった営農体制作りが大切になっている。農業基本計画に基づくアクションプランにより、地域の営農システム構築支援事業を新たに市独自策としてはじめ、組織の自立をめざす。

西中筋地区総合整備について

問 総合整備プロジェクトでの由良川築堤工事の計画予定は。

答 由良川改修は、観音寺以西の1、200mについて築堤計画が示され、3月上旬用地幅杭の設置作業が終わり、引き続き用地買収に向けた境界の立合いが進められている。

特定環境保全公共下水道について

問 事業計画の概要と取り組みのコンセンサスはどうか。

答 上川口と金谷地区を対象に、一部の合併浄化槽地域を除き、計画人口2、830人、計画戸数1、000戸、事業費約41億円で平成20年度完了目標にしている。一度にはできないが、川口中学校などは早くやらなければいけない。また、17自治会と十分に話し合いを続け、了解を得ている。

無会派

荒川 浩司
芦田 廣

豊富用水防災対策について

問 豊富用水池監視カメラの設備概要と機能は。また、平成11年の大雨で土砂崩れが発生しているが、防災観点から用水路付近の安全点検の考え方は。

答 カメラ1台は固定式で余水吐付近、1台は高感度で池全体を監視する。モニターは奥榎原公会堂・市庁舎・消防署で24時間の監視ができ、災害時の機動体制が向上する。土砂崩れで人命に危険を及ぼしたが、補修工事をし、土地改良区で点検をしている。



用水路点検及び監視カメラ確認を行う豊富用水土地改良区役員

障害児通園療育センター「くりのみ園」について

問 くりのみ園のこれまでの大きな成果を評価しつつ、今後の課題として施設の増設・個人教育のための個室スペース確保の考えは。

答 入園者は増加の傾向にあるが、これまでの体制で行いたい。個室スペースについては、今後検討したい。



充実が望まれる療育センター「くりのみ園」

常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

平成13年度一般会計予算について福祉部関係で、ミュージシャン育成支援事業、ひとり暮らし老人の配食サービス事業、福寿園施設整備調査検討業務、家族介護激励金制度、くりのみ園療育事業、緊急雇用特別対策事業、市民部関係で、人権平和文学賞、住民基本台帳ネットワークシステム導入事業の効果、隣保館費でIT講習推進事業などについて質疑するとともに、同和対策費や塵芥処理費などについても質疑した。また、平成13年度国民健康保険事業特別会計

予算、休日急患診療所特別会計予算、老人保健医療事業特別会計予算、介護保険事業特別会計についても質疑した。さらに、国民健康保険出産貸付基金条例の制定、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定、市民病院関係の2議案を審議するとともに、平成12年度の一般会計補正予算についても審査を行った。今議会において当委員会に付託された17の議案は、すべて原案どおり可決した。

総務委員会

当委員会に付託された議案は、平成13年度一般会計予算他5件と、追加提案された平成12年度一般会計補正予算他2件。

平成13年度予算の歳入面では、個人市民税は対前年度比マイナス1・05%であるが、法人市民税が21・84%増、固定資産税が4・54%増で市税全体では4・65%の増となっている。

歳出面の主なものとしては、(仮称)芦田均記念館整備事業は、名誉市民である芦田均元首相の生家を記念館として整備するもので、

佐藤太清賞公募美術展開催は、全国の高校生・大学生・専門学校生から絵画を公募して、美術展を福知山・京都・東京で開催するものである。

平成12年度補正予算関係では、法人市民税、地方交付税等の増収が見込まれることから、2億5,774万円余の起債の繰上償還を行い、1,839万7千円余の利子負担の軽減をはかるものである。

以上付託9議案は、審査の結果全員賛成で原案どおり可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された議案は、平成13年度一般会計予算他4議案と平成12年度一般会計補正予算他5議案。

建設部関係について、国の景気対策との関係、地域経済の活性化にどのように結びつけるかの問題で質疑があり、国の言う景気対策は本予算には入っていないが、都市基盤整備や排水対策等について積極的に進めて行くとの説明があった。その他、道路・河川・街路事業、駅南・駅周辺・石原の各土地区画整理事業、連続立体交差事業及び都市公園条例の改正案について

も掘り下げた質疑が行われた。

教育委員会関係では、教育行政全般についての質疑をはじめ、市立幼稚園懇話会の問題、小・中学校の少人数学級についての取り組み、小・中学校の扶助費、IT講習会、学校施設整備費、三岳青少年山の家の全面改築の計画案について、その他、人権啓発、同和対策事業等について活発な質疑が行われた。

審査を終わり採決の結果、議第51号と79号は賛成多数で、他の9議案については全員賛成でいずれも原案承認可決した。

経済委員会

経済部所管農業集落排水施設事業に関して、24・3%の料金改定と、今後の料金の見直し等の質疑を行い、基本的に使用料で7割、残り3割を一般会計繰入金で対処することや農免道路事業の森垣狭あい部分の問題、有害鳥獣対策の府市補助などの説明を受けた。商工関係では、中心市街地活性化関連での御霊公園駐車場改築、厚生会館改築、福知山のづくり再発見事業、大店立地の事前調査資料収集事業、職員アイデア名物料理開発事業の進め方などの質疑を行った。公営企業部関係では、

水道・簡水の料金値上げ、水道事業拡張での出水状況調査について説明を受けた。ガス関係では、13年度のガス事業費用の増加理由について聞いた。下水道関係では料金値上げに関して、ポンプ等機器類の耐用年数、更新時期等の経費節減と使用料値上げの関わり、特定環境保全公共下水道と市街地浸水対策の中部系統に設置する構造物などについて詳細な説明を受け、慎重な審査を終え、採決の結果、全議案原案のとおり可決された。

請願(3月定例会上程分)の審査結果

◆採択したもの

- 新たな農業所得補償政策の早期構築等に関する請願
(請願者 京都府農業協同組合中央会
会長 中川泰宏
京都丹の国農業協同組合
代表理事組合長 井上實義)
- 新たな農業所得補償政策の早期構築等に関する請願
(請願者 京都府農業協同組合中央会
会長 中川泰宏
福知山市農業協同組合
代表理事組合長 河波頼雄)

◆継続審査となったもの

- 食の安全確保に関する請願
(請願者 京都労働者福祉協議会
会長 金田直樹
福知山地区労働者福祉協議会
会長 藤田清志)
- 誰もが安心して医療が受けられるために、国民健康保険制度の改善を求める請願
(請願者 福知山民主商工会
会長 荻野敏治)
- 市民の介護・医療の保障を求める請願
(請願者 福天地域の医療と福祉をよくする会
事務局長代行 塩見 正)
- セーフガードの発動と米価暴落に対する対策の実現を求める請願
(請願者 金山農民組合 山下啓一
中丹農民組合 平野 力)

3月定例会で提出した意見書

新たな農業所得補償政策の早期構築を求める意見書

近年の国内野菜価格は、輸入の増大により大幅に下落し、農業所得に大きな影響を与えている。

こうした状況にセーフガードの発動を求める声もあるが、機動的、効果的な対抗手段とはならない。また、国内農業は将来にわたる国民食料の安定確保や水資源を主とした国土環境の保全などの多面的機能を発揮しており、農村や優良農地を守ることが先決かつ重要である。

よって、政府におかれては、下記施策を早期に講ぜられるよう強く求める。

記

- 1 輸入生鮮野菜の大幅な増加による国内産生鮮野菜価格の大幅な下落に対抗するとともに、将来にわたり国民の食料を安定供給する農業が維持でき、意欲ある農業の担い手が他産業並の生涯所得を確保し得る新たな農業所得補償政策を早期に講ずること。
- 2 輸入野菜に対抗し得る京野菜をはじめとする特色ある国内農産物の生産振興に向け、国をあげて施設化、生産・流通の合理化等の支援策を講ずること。
- 3 国民食料を安定確保し、農業が果たす多面的機能を将来にわたって発揮するために、現行の中山間地直接支払制度を改正し、欧州各国が実施している条件不利地への直接支払制度と同様に農地面積に応じた補償金を農家に直接支給する制度とするとともに、農村や優良農地の保全が可能な所得補償制度とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年3月28日

内閣総理大臣
財務大臣 宛
農林水産大臣

福知山市議会議長 塩見 仁

議会日誌

〔2月～4月〕

《2月》

- 2日 京都府市議会議長会(舞鶴市) 議会運営委員会
- 5日 北部四市議会事務局長・次長会議(福知山市)
- 7日 鹿児島県出水市議会視察来市
- 8日 全国市議会議長会基地協議会総会(仙台市)
- 13日 東京都稲城市議会視察来市
- 14日 全国市議会議長会高速自動車道市議会協議会総会(東京)
- 15日 全国市議会議長会広域行政圏協議会総会(東京)
- 20日 各派幹事会、議員研修会
- 21日 宮崎県西都市議会視察来市
- 23日 京都府市議会議長会臨時事務局長会
- 26日 議会運営委員会
- 5日 定例会開会(施政方針・提案理由の説明)
- 7日 議会運営委員会
- 13日 本会議(質疑)、各派幹事会
- 14日 本会議(追加提案・質疑)
- 16日 本会議(追加提案質疑・質疑・委員会付託)、全議員協議会
- 19日 各常任委員会
- 21日 各常任委員会
- 28日 議会運営委員会、本会議(委員長報告・採決)、議会

《4月》

- 29日 だより編集委員会
- 30日 愛知県一宮市議会視察来市
- 5日 京都府市議会議長会長引継会
- 10日 総務委員協議会、議会だより編集委員会
- 17日 近畿市議会議長会理事会・総会(桜井市)
- 18日 福島県福島市議会視察来市
- 19日 全議員協議会、議会だより編集委員会
- 19日 京都府市議会議長会事務局

編集後記

桜花爛漫の春から新緑に向かう自然とともに、21世紀のプロローグにふさわしい予算が成立しました。市議会も新年度予算について真剣に審議をして決定をいたしました。経済情勢も不安定な時ではありますが、新世紀にふさわしい事業がスムーズに施行されますよう、議会としても努力してまいります。

議会だより編集委員会もさらに研さんを重ね、よりよい議会だよりをめざして努力してまいりますので、ご意見、ご希望をお寄せください。